あのときの常呂・写真館

VOL 11

（１９６２年）
昭和３７年７月　常呂小学校修学旅行の出発

▶これらの写真は、町内在住の方から提供されたものです。

▶この当時、町内の小学校の修学旅行の日程・行き先は、１泊２日で阿寒湖や川湯・硫黄山方面でした。

＊「常呂小学校開校百周年記念誌」には、昭和３７年６年竹組が阿寒湖畔で撮った記念写真が掲載されています。

＊ある方から、当時、事前にお米を学校に持って行ったこと、希望する父兄も一緒に行ったこと、枕投げをしたこと、木刀を買った子が多かったことなどの思い出をお聞きしました。…。

▶駅前（現交通ターミナル前）が集合・出発で、多くの家族が見送りにきているようすが分かります。

▶昭和３７年頃、常呂小学校は松・竹・梅の３クラス、ぞれぞれ４５人以上という、今では考えられない過密状態でした。

＊「常呂小学校開校百周年記念誌」では、昭和３０年代を次のように記しています。

…３０年代は　前半と後半で大きな変動があった。前半は、児童の激増期であり、３０年に校舎の全面改築が行われた。それ以降も年３０－４０名の児童増により、３３年には一部の学年で二部授業まで行われた。３４年には１７学級８０１名となり、開校以来最大児童数となった。しかし、３６年には常呂町が過疎化に入り、以降、急激な児童減少になる。

正面左に北見バスの営業所（現常呂ハイヤー）が見えます